

誰もが一緒に学べる講座

ユニバーサルデザイン(UD)空間づくりの実践ガイド



会場アクセスと動線の確保：入り口から座席まで

2. 受付

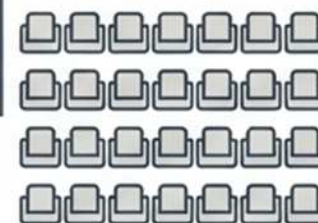
車椅子や子供連れでも
利用しやすい高さか？
筆談用具はあるか？



駅・駐車場



受付



会場座席



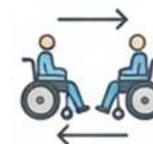
1. アクセス

最寄り駅・駐車場からのルート確保。
雨天時の移動や車いす乗降場ス
ペース(屋根付き)を確認。

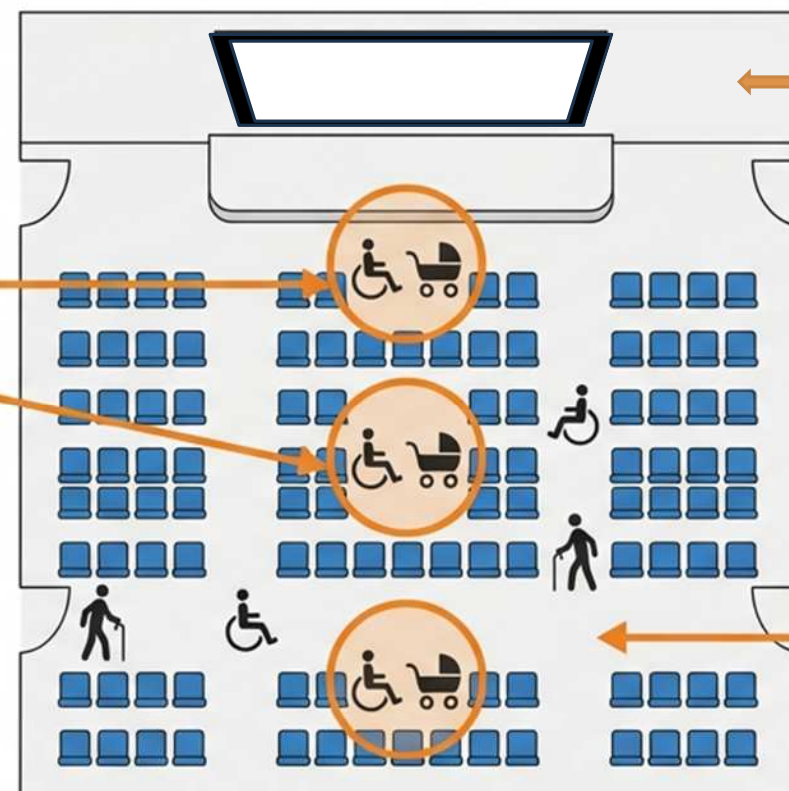


3. 通路

通路幅は車いすが通れる広さ
を確保。床にケーブルや荷物を
置かない。



誰もが居心地の良いレイアウト（空間づくり）



車いす・ベビーカー席

出入口付近だけでなく、前方や中間にもスペースを確保。「隔離」せず友人と座れる配置に。

照明

講師の顔が見えやすい均一な明るさ（読唇術・弱視への配慮）。逆光を避ける。

導線

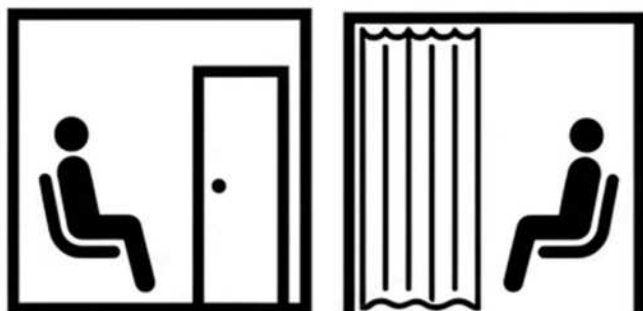
スムーズに移動できる広い通路幅。

「専用席」を端に追いやるのではなく、選択できるようにすることが重要です。

感覚過敏や精神的な安心への配慮

人混みや音、光に疲れやすい方のために「**落ち着ける場所**」と「**ツール**」を用意します。

カームダウンスペース



パニック時や疲労時に、静かに落ち着ける個別の空間や別室。

イヤーマフ・耳栓



音に過敏な方のために受付等に用意しておくで安心。

筆談・ コミュニケーションボード



言葉で伝えるのが難しい時のための視覚的ツール。

「情報の明確化」と「24ポイントのルール」

スライドの文字サイズは「24pt以上」を厳守する。



× BAD: 小さい文字、明朝体、低コントラスト(赤と緑)



◎ GOOD: 24pt以上、UDゴシック、高コントラスト

配布資料は12～14pt以上。色だけで情報を伝えない(「赤色の部分」ではなく「下線の部分」と言う)。

分かりやすいスライド・資料の構成



1スライド・1メッセージ: 情報を詰め込みすぎない。



図解の活用: 同じ文字の重なり、図やアイコンで構造を示す。



読み上げ: 視覚情報を言葉で説明する(「右肩上がりのグラフです」)。

ふくざつな かんじ
複雑な漢字

ふりがな: 難しい漢字や専門用語にはルビを振る。

「聴こえ」をサポートする工夫



マイクの必須使用

「地声が大きいから大丈夫」はNG。
補聴器はマイクを通した音の方が拾いやすいです。



話し方

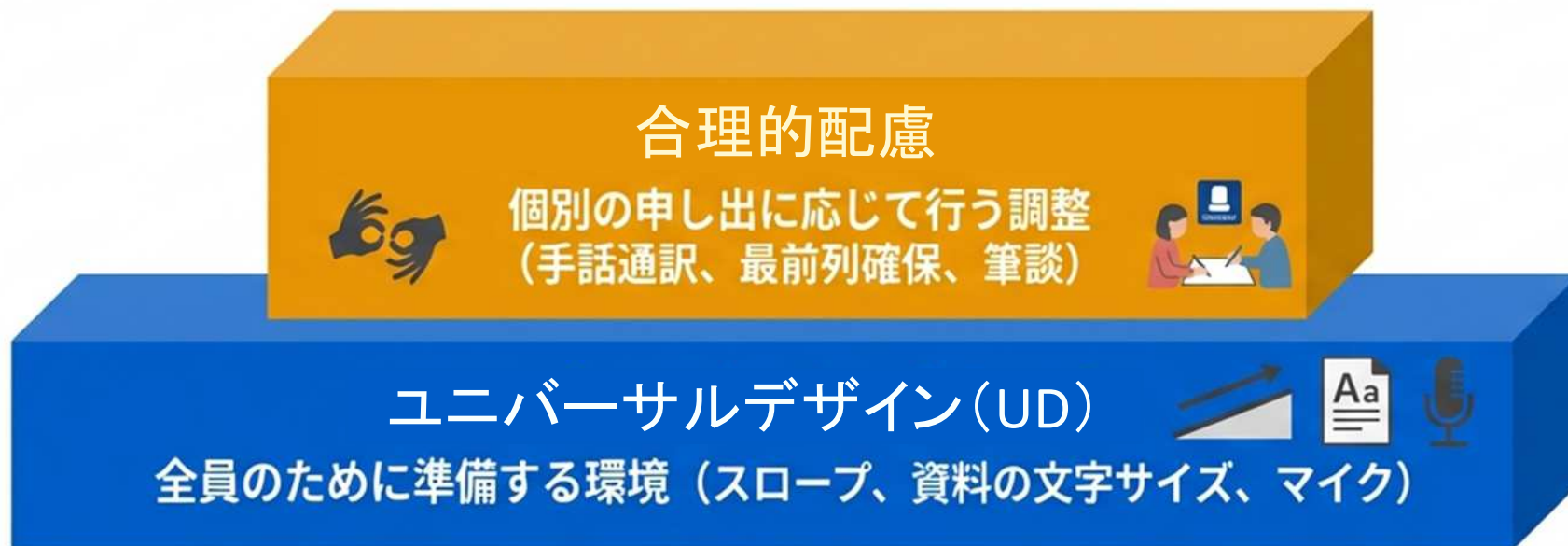
ゆっくり、はっきり、口元を見せて話す。



文字による情報保障

「音声認識アプリ」や「字幕機能」などを活用し、リアルタイムで文字を表示する。

「ユニバーサルデザイン」と「合理的配慮」



主催者のアクション

1. 申込フォームに「配慮が必要な事項はありますか？」の項目を設ける。
2. 「何かお手伝いしましょうか？」と言葉を掛けやすい雰囲気を作る。



主催者用・UD実践チェックリスト

【準備・広報】



- 申込時に**配慮事項**を確認しているか？
- Webサイトは**読み上げ対応**か？



【会場・空間】



- アクセスルートは**段差なし**か？
- 多機能**トイレ・カームダウンエリア**はあるか？



【資料・情報】

- 文字は**24pt以上・UDフォント**か？
- 字幕**や**マイク**の準備はOKか？



【当日・運営】

- 筆談用具**はあるか？
- スタッフは「**お困りのことはありませんか？**」と言葉掛けできるか？

